

1. 長期成長ビジョン

クラウド及びAI技術の最先端企業として、世界をリードするクラウドAIソリューションプラットフォームを目指す

長期成長ビジョン（目指す姿・ビジネスモデル）

クラウド及びAI技術の最先端企業として、世界をリードするクラウドAIソリューションプラットフォームを目指す

クラウドAIソリューションプラットフォーム

- 世界最高のGPU仮想化テクノロジーとクラウドストリーミングプラットフォームで社会のデジタルトランスフォーメーション加速に貢献

イノベーション

- 「勇敢に夢を追いかけて、失敗を恐れない」という信念で失敗から学び、イノベーションを実現する

グローバル

- 国際的な視点からスタートし、全ての人々に最大の利益をもたらす

会社全体の売上成長目標（～30年）

- ・ 売上高成長率42%
- ・ 売上高増加額159億円

会社全体の賃上げ目標

- ・ 3.4%（直近事業年度～基準年度）
- ・ 10.0%（基準年度～事業化報告3年目）

外発的動機

①日本のAI開発基盤の自立化・強化

- ・ デジタル分野の海外依存加速による**日本のデジタル赤字拡大**
- ・ 日本市場・文化に適した**日本語特化型LLMニーズ**や機密性の高い領域におけるAI活用ニーズの増加
- ・ 日本政府のAI・デジタル基盤整備政策（GENIAC等）

②GPU供給不足

- ・ 生成AI需要の爆発的拡大に伴う**GPU供給不足**と価格高騰
- ・ 日本国内におけるGPUクラウド基盤の不足による**国内AI産業の成長阻害**

内発的動機

- ・ クラウドゲーミングで培った**GPU仮想化・低遅延技術**を活かした、生成AI領域でのワンストップソリューション提供への挑戦
- ・ 「**AI時代のGPU供給インフラを日本国内で確立したい**」という創業者の強い意志
- ・ 国内GPUリソースが限られる中で、**NVIDIAとの強固な関係**を活かし、AIスタートアップや中小企業の成長を支援したいという思い
- ・ 「日本発の技術で、世界のAI・コンテンツ産業に貢献したい」という**グローバルな志向**

2.補助事業の概要

京都府舞鶴市における生成AI向けGPU搭載データセンター新設により国内GPU供給体制を確立し、クラウド技術を活かした一体的サービス提供により、国内AI開発の活性化と競争力強化を目指す

補助事業の
背景・目的

- GPUリソース不足と大手海外クラウド事業者への依存による価格高騰・柔軟性不足
- GPU仮想化・低遅延ストリーミング技術を活かした国内AI開発の活性化

事業費
(補助額)

176億円
(50億円)

設備投資の
内容

京都府舞鶴市における生成AI向けデータセンター新設による国内GPU供給体制の確立

【具体的な投資内容】

- ① データセンターの建屋建設：20億円（補助対象）
エネルギー効率の高いGPU搭載データセンター用の建屋を新設
- ② GPUサーバー・ネットワーク機器導入：160億円（補助対象）
NVIDIA Blackwell GPU等の最先端技術を2025年から2026年に掛けて先行的に導入
- ③ GPUサーバー・ネットワーク機器導入：320億円（補助対象外）
電力供給の確保状況に応じて2027年に段階的に導入（最大5,000台規模）



【補助事業により見込まれる効果】

- GPUリソースとGPU運用サービスの一体的提供による**売上拡大**
- データの**国内処理・保全体制を確立**し、サイバーセキュリティ・BCP対策を強化
- GPU供給不足・コスト高騰問題を解消し、**国内AI産業の競争力強化**
- 新規雇用創出（運用・技術職）＋賃上げ実現を通じた地域経済の活性化

目標値

項目	2027年度 (基準年度)	2030年度 (基準年度 + 3年後)
労働生産性 (単位：万円/人)	3,220万円/人	14,857万円/人 (年平均上昇率 + 66.5%)
従業員1人あたり給与支給総額 (単位：万円/人)	764万円/人	1,017万円/人 (年平均上昇率 + 10.0%)
役員1人あたり給与支給総額 (単位：万円/人)	-	- (年平均上昇率 + 5.0%)
補助事業に係る従業員数 (単位：人)	47人	60人